

平成30年度開設予定大学院等一覧

1 大学院を設置するもの 9校

平成29年8月

区分	大 学 名	研究科・専攻名	入 学 員 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
公立	山形県立米沢栄養大学大学院	健康栄養科学研究科 健康栄養科学専攻 (M)	3	山形県米沢市	山形県公立大学法人	<ul style="list-style-type: none"> ・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 ・「グループワーク」を取り入れるとしている科目のうち、シラバスでは文献検討のみが計画されているなど、グループワークとは言えない科目が見受けられる。グループワークを取り入れる場合は、事例研究などを取り入れることで、グループワークにふさわしい授業内容となるよう留意するとともに、主観的な評価方法ではなく客観的な指標や観点に基づき学修成果を把握するように努めること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 	
〃	敦賀市立看護大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M)	8	福井県敦賀市	公立大学法人 敦賀市立看護大学	<ul style="list-style-type: none"> ・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 ・教育目標の一つである「高度な看護実践者の育成」の実現方法として示された、「実際の臨地現場で発生するリアリティーのある現象を教材にした演習」については、各演習科目のシラバスにも明確に記載し、着実に実施すること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 	

区分	大 学 名	研究科・専攻名	入 学 員 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	京都看護大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M)	7	京都府京都市	学校法人 京都育英館	<ul style="list-style-type: none"> ・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 ・ディプロマ・ポリシーにおける各項目と各領域及び各科目がどのように結びついているのか、学生が明確に理解できるようにすること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 ・学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。 	
"	大阪成蹊大学大学院	教育学研究科 教育学専攻 (M)	5	大阪府大阪市	学校法人 大阪成蹊学園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 	
"	相愛大学大学院	音楽研究科 音楽専攻 (M)	8	大阪府大阪市	学校法人 相愛学園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 ・音楽学の領域の修了要件について、「口述又は筆記試験」の実施時期が資料によって異なっているため、規程等において、正しい時期を明確にし、学生等に適切に周知すること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (相愛大学 音楽学部音楽学科) 	

区分	大 学 名	研究科・専攻名	入 学 員 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
	(相愛大学大学院)					<ul style="list-style-type: none"> ・完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 	
私立	奈良学園大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M)	8	奈良県奈良市	学校法人 奈良学園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 ・「国際看護特論」の内容について、各専門分野における諸外国の状況など、国際的な観点で学ぶことができるよう、適切に改めること。 ・ディプロマ・ポリシーについて、臨床が強調されているが、3分野における専門性を深めることを教育研究上の目的で掲げるのであれば、臨床現場のみであると誤解を与えないように、留意すること。 ・それぞれの科目で育成する能力がシラバスでも読み取れるように工夫すること。 ・修士論文の審査基準について、審査基準の項目のみではなく、それぞれの項目をどのような観点で審査するのかを学生に明示すること。また、修士論文に係る研究について「共同研究」を可能としていることに対し、修士論文は単著であることに限定する等、個人の学修成果を評価できるように規程等で明確にすること。 ・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 ・完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 	

区分	大 学 名	研究科・専攻名	入 学 員 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	広島都市学園大学大学院	保健学研究科 保健学専攻（M）	10	広島県広島市	学校法人 古沢学園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ・学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (広島都市学園大学 子ども教育学部子ども教育学科) 	
〃	純真学園大学大学院	保健医療学研究科 看護学専攻（M） 保健衛生学専攻（M）	6 6	福岡県福岡市	学校法人 純真学園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 	
〃	九州共立大学大学院	スポーツ学研究科 スポーツ学専攻（M）	5	福岡県北九州市	学校法人 福原学園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 ・「現場演習」の科目の実施に当たっては、次の点を改めること。 (1)「保健体育科教育法現場演習」の授業計画（シラバス）では、「模擬授業」を行うこととしており、科目名称と授業計画が整合していないことから、授業計画（シラバス）が本専攻の設置の趣旨等とも適合するよう、「現場演習」を行う授業計画に改めること。 (2)実施場所については、確実に確保すること。 (3)「現場演習」は長期にわたるとのことだが、「保健体育科教育法現場演習」、「コーチング現場演習」及び「アスレチックトレーニング現場演習」の3科目については、現場での演習が数回しかないため、演習の回数を増やすなどして、内容を充実させること。その際、シラバスにはどこで「現場演習」を行うのかについても明確に示すこと。 	

区分	大 学 名	研究科・専攻名	入 学 員 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
	(九州共立大学大学院)					・完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。	
計	9校	9研究科 10専攻(M)	66	大 学 院 0	認可申請に伴う、既設研究科等の入学定員の変更状況		

2 研究科を設置するもの 12校

区分	大 学 名	研究科・専攻名	入 学 員 定 数 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	北海道科学大学大学院	保健医療学研究科 看護学専攻 (M) リハビリテーション科学専攻 (M) 医療技術学専攻 (M) 薬学研究科 臨床薬学専攻 (D)	5 4 4 3	北海道札幌市	学校法人 北海道科学大学	<ul style="list-style-type: none"> ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。(看護学専攻、臨床薬学専攻) ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(北海道科学大学短期大学部 自動車工業科) ・二以上の大学等を設置する学校法人が、一の大学等若しくは学部等を廃止して、一定の要件の下、当該学校法人が設置する他の大学等の学部等を設置する場合の特例を適用することから、北海道薬科大学及び北海道薬科大学大学院については、計画どおり廃止すること。 	<p>工学研究科 医療工学専攻 (M) (廃止) ※平成30年4月学生募集停止</p> <p>北海道薬科大学大学院 (廃止) 薬学研究科 臨床薬学専攻 (D) ※平成30年4月学生募集停止</p>
〃	聖徳大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M)	8	千葉県松戸市	学校法人 東京聖徳学園	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理審査委員会規程について、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」が反映されているが、留意事項として記載されている。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて規程を整備する必要があるため、適切に改めること。 ・完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(聖徳大学 心理・福祉学部心理学科、文学部文学科、音楽学部演奏学科、聖徳大学短期大学部 保育科第一部、総合文化学科) 	
〃	千葉科学大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M)	5	千葉県銚子市	学校法人 加計学園	<ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマ・ポリシーについて、教育研究する能力と研究・教育に取り組む基礎的能力が別の項目として掲げられているが、内容が重複しているため、学生に分かりやすく整理すること。 	

区分	大 学 名	研究科・専攻名	入 学 員 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
	(千葉科学大学大学院)					<ul style="list-style-type: none"> ・倫理審査規程は最新の指針等に基づき、整備すること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (倉敷芸術科学大学 芸術学部デザイン芸術学科、千葉科学大学 薬学部生命薬科学科、危機管理学部環境危機管理学科、航空技術危機管理学科) 	
私立	麗澤大学大学院	学校教育研究科 道徳教育専攻 (M)	6	千葉県柏市	学校法人 廣池学園	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳教育実践演習Ⅰ・Ⅱ」は実習を主とした内容となっているが、修士課程の実践演習としては研究的な側面が不十分である。実践を通して研究課題を設定することや、実践後の省察を次の実践の改善につなげるといった工夫を加えるなど科目内容を改善すること。特に、修士論文の代替となる「特別研究実践報告書」の研究水準の確保を図るために科目内容を充実すること。併せて、当該科目に学術的な研究経験のある教員の配置についても検討すること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 ・完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 	
〃	帝京科学大学大学院	医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻 (M)	3	東京都足立区	学校法人 帝京科学大学	<ul style="list-style-type: none"> ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (帝京科学大学 医療科学部医療福祉学科) 	

区分	大 学 名	研究科・専攻名	入 学 員 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	日本体育大学大学院	保健医療学研究科 保健医療学専攻 (M)	8	神奈川県横浜市	学校法人 日本体育大学	・特になし。	
〃	同志社女子大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M)	6	京都府京田辺市	学校法人 同志社	<ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマ・ポリシーで示された「エビデンスとナラティブを統合できる看護実践能力を有している。」については、看護学研究分野のみならず助産学実践分野においても達成できるよう、当該分野のポリシーとして明確に位置付けるとともに、学生及び入学志願者に対しシラバスや募集要項において示すことにより、本学の目指す人材養成の着実な実施に努めること。 ・助産学実践分野における実習については、担当教員が同一時間帯に学部科目の実習も担当していることから、当該科目の責任・指導体制を明確にし、安全かつ効果的な実習が行えるよう、教員の負担にも十分に配慮しながら適切に取り組むこと。 ・学位授与に係る論文審査及び最終試験については、審査の厳格性及び公平性を確実に担保できるよう、実施主体や実施スケジュール等についてオリエンテーションやシラバスへの記載等により学生に適切に周知すること。 	
〃	龍谷大学大学院	農学研究科 食農科学専攻 (M) 食農科学専攻 (D)	30 5	滋賀県大津市	学校法人 龍谷大学	<ul style="list-style-type: none"> ・専門科目の全授業がオムニバス形式となっているため、農学研究科委員会において教育課程の一貫性を確実に担保することができるよう、教育方法や教育内容の調整に関する内容を審議内容に追記するなど委員会規程を適切に見直すこと。また、科目別会議の位置付けや教員構成、開催頻度についても内規等で定めることにより、設置計画の履行に努めること。(博士前期課程) ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。 	
〃	大阪歯科大学大学院	医療保健学研究科 口腔科学専攻 (M)	10	大阪府枚方市	学校法人 大阪歯科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(大阪歯科大学 医療保健学部口腔工学科) ・既設校について、認可の前提となった設置計画が大幅に変更されていることから、設置計画を確実に履行するとともに、その計画に変更を加えるときは事前に協議すること。 	

区分	大 学 名	研究科・専攻名	入 学 員 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	関西医科大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M) 看護学専攻 (D)	20 5	大阪府枚方市	学校法人 関西医科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・博士前期課程・後期課程のそれぞれの人材像について、受験生が把握しやすいようにする観点から、より明確に示すこと。さらに、それを踏まえた上で、3方向の人材養成像が、修士課程から博士課程にそれぞれどのようにつながっていくのか、明確になるよう努めること。 ・高度実践看護師コース、臨床看護教育コース及び研究者コースにおいて、論文審査の進め方が異なること、また、学位論文の審査における透明性・公平性等の担保の仕組みについて不明確であるため、適宜規程に定めるなどして、審査の基準や方法を明確に設定すること。(博士前期課程) ・修士論文の作成に関する研究科目6単位のうち、2単位のみが研究を行うもの、その他の4単位は研究の方法論を学習する科目となっているが、2単位のみでは大学院における体系的な研究として十分であるということではできないため、学生が十分な研究時間を確保するとともに、十分な研究指導ができるよう努めること。(博士前期課程) ・新たな教育課程の立上げに際しては、教員の負担も大きく、また懸念も少なくないところ、今回は学部、博士前期課程及び博士後期課程を同時に設置する構想であり、教員の負担をはじめ懸念も少なくないため、組織的に対処していくに当たり十分な検討を行うよう努めること。 ・論文審査の基準・方法について、教育の質保証の観点からも計画の着実な履行が望まれるが、「2名以上の査読がある学術誌」への投稿を求めると、高い水準の基準を設けるのであれば、学生の研究支援体制の構築などに努めること。(博士後期課程) 	
〃	関西福祉大学大学院	教育学研究科 児童教育学専攻 (M)	5	兵庫県赤穂市	学校法人 関西金光学園	<ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマ・ポリシーで掲げる「地域社会との連携」に係る能力を、「特別研究」において修得させるとの説明であるため、カリキュラム・ポリシーにおいてもその旨を明確にし、学生に周知すること。 ・履修規程上、履修可能な「社会科教育特論」及び「社会科教育演習」について、社会人の時間割に記載がないので、開設時まで適切な時間割に改めること。 	

区分	大 学 名	研究科・専攻名	入 学 員 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
	(関西福祉大学大学院)					・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	
私立	安田女子大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M) 看護学専攻 (D)	10 3	広島県広島市	学校法人 安田学園	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	
計	1 2 校	1 3 研究科 (M) 1 4 専攻 (D) 4 専攻	124 16	認可申請に伴う、既設研究科等の入学定員の変更状況 大 学 院 △ 9			

(注) 「備考」欄の () 書きの数字は、今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

3 専攻設置又は課程を変更するもの 7校

区分	大学名	研究科・専攻名	入学 定員 (人)	位置	設置者	留意事項	備考
公立	横浜市立大学大学院	医学研究科 看護学専攻（D）	6	神奈川県横浜市	公立大学法人 横浜市立大学	・特になし。	
〃	新潟県立看護大学大学院	看護学研究科 看護学専攻（D）	3	新潟県上越市	公立大学法人 新潟県立看護大学	・教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	
私立	群馬パース大学大学院	保健科学研究科 保健科学専攻（D）	2	群馬県高崎市	学校法人 群馬パース学園	・本専攻にある既設の博士前期課程との研究領域のつながりについては、本課程の「医療科学領域」と博士前期課程の「病因・病態検査学領域」を核としていることが、学生をはじめ、社会に対して適切に理解されるよう努めること。 ・学位論文の提出の条件が複雑で整理されていないことから、開設時まで適切に改め、規程等で示すこと。また、共著の条件を厳格に取扱い、学修の成果をきちんと評価して学位を授与するよう、適切に運用すること。	
〃	高崎健康福祉大学大学院	保健医療学研究科 理学療法学専攻（M）	3	群馬県高崎市	学校法人 高崎健康福祉大学	・特になし。	
〃	武蔵野大学大学院	環境学研究科 環境システム専攻（D）	2	東京都江東区	学校法人 武蔵野大学	・特になし。	平成30年4月名称変更予定 通信教育部人間学研究所→通信教育部人間社会研究科
〃	森ノ宮医療大学大学院	保健医療学研究科 医療科学専攻（D）	2	大阪府大阪市	学校法人 森ノ宮医療学園	・博士論文審査基準のうち、研究倫理の項目は、段階評価でなく適否で判断することが適切であるため、改めること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	

区分	大 学 名	研究科・専攻名	入 学 員 定 員 (人)	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	甲南女子大学大学院	看護学研究科 看護学専攻（D）	3	兵庫県神戸市	学校法人 甲南女子学園	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	
計	7校	7研究科（M） （D）	1専攻 6専攻 3 18	認可申請に伴う、既設研究科等の入学定員の変更状況			

（注）「備考」欄の（ ）書きの数字は、今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。